



東京女子医科大学病院

医療連携ニュース

2013年 秋号



副院長

萩原 誠久

(臨床研修教育部門・
患者サービス部門担当)

ごあいさつ

臨床研修教育部門および患者サービス部門担当の副院長を務めております。臨床研修教育部門は卒後臨床研修センター長と医療練士制度委員会委員長を兼任し、卒業教育全般を担当しております。現在までに1期生から10期生の700名を超える初期臨床研修医がセンターに採用されており、医療練士研修生も例年120名を超える多くの後期研修医が各診療科に入局しております。また、当院は文部科学省の『がんプロフェッショナル養成基盤推進事業』にも採択され、がん領域専門の医療人養成にも積極的に携わっております。東京女子医科大学病院の新病院プロジェクト行動指針の一つとして、次世代を担う医療人の育成が謳われておりますが、今後も地域医療に貢献し、新専門医制度にも対応する研修プログラムを構築したいと考えております。患者サービス部門も患者さん、ご家族の視点に立った医療を実践できる施設として、きめ細かい対応を考えてまいりたいと思っております。今後ともスタッフ一丸となって全力を注いでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



がんセンター
病院部門長

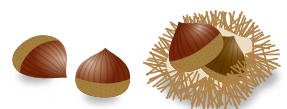
林 和彦

(化学療法・緩和ケア科診療部長)

東京女子医科大学病院がんセンター紹介

東京女子医科大学病院がんセンターでは、多様化するがん医療に対応するため、次のような6つの部署(室)を設置し、各職種がチームを組んで全力でがん患者さんをサポートいたします。

①外来化学療法室—明るくゆったりとした環境のもと、専従の医師、看護師、薬剤師が、安全な外来化学療法を提供します。がん専門診療科として、化学療法・緩和ケア科の医師が常駐し、外来診療を行うと共に、患者さんの安全管理を行います。②レジメン審査室—がん診療に従事する医師、看護師、薬剤師からなる専門家集団が、病棟や外来で行われる化学療法の薬剤の組み合わせや投与方法を、科学的根拠に基づいて審査します。③がん相談室—がん患者さんやご家族の相談窓口です。がん医療についてのご質問、今後の療養や生活面での心配事など、様々なご相談に誠実に対応いたします。④がん研修室—各分野の専門家が集結した症例検討会(カンサーボード)、がん医療に関するカンファレンス・研究会の開催や、がん医療者に対する研修を実施します。⑤がん緩和ケア室—緩和ケアチームが、がんに伴う疼痛などの不快な身体症状の改善や、不眠、不安、抑うつなどのこころのケアを行ないます。⑥がん登録室—がん臨床に関する様々なデータをできるだけ多く集め、国や地方自治体のがん対策のために必要なデータを提供します。





放射線腫瘍科
診療部長

三橋 紀夫

■ 高精度放射線治療のご紹介

今世紀に入り、放射線治療機器ならびにコンピュータ技術の目覚ましい進歩によって、がん病巣に放射線照射を集中させ、正常組織への照射を極力低減することを可能とする高精度放射線治療が次々と臨床応用されています。細いビームを用いて多方向からピンポイントでがん病巣に照射を行う『定位照射』は脳腫瘍などの頭蓋内病変のみでなく、肺がんや肝臓がんでも可能となりました。肺がんでは1回に12Gyという大線量を4回照射するだけで、手術成績と遜色のない局所制御率が得られています。また、照射野内を不均一に多方向から照射することで、隣接する重要な正常組織の線量を減らすことができる『強度変調放射線治療 (IMRT)』は脳腫瘍、頭頸部がん、前立腺がんなどに効果を発揮し、正常組織の副作用を低く抑えて、治療後の患者さんのQOLを良好に保つことを可能としました。



写真1:画像誘導放射線治療装置

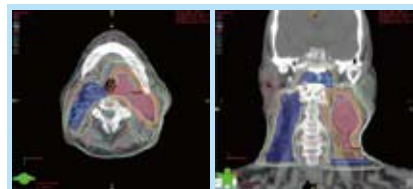


写真2:左扁桃癌に対するIMRT



消化器内視鏡科
診療部長

中村 真一

■ 内視鏡治療のご紹介

中央検査部内視鏡室では、消化器内科、消化器外科、第二外科の医師が中心となり、消化管ならびに胆膵系癌の診療に取り組んでいます。本年度より最新鋭機器を導入し、画像強調観察がルーチン化し、消化管癌の診断能力の向上に務めるとともに、安全で適切な治療を推進しています。上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査は年間13,000例、大腸内視鏡検査は6,100例で、消化管癌の治療数は食道および胃粘膜切除術(ポルペクトミーを含む)20例、同粘膜下層剥離術(ESD)122例、大腸粘膜切除術(ポルペクトミーを含む)685例、同ESD10例の実績があります(2012年度実績)。ESDの普及で内視鏡切除の適応が拡大し、低侵襲治療で治療する機会が増加したことは患者さんにとって福音であります。胆膵領域では内視鏡的逆行性胆膵管造影検査700例の実績があり、超音波内視鏡下穿刺細胞診(EUS-FNA)も国内有数の症例数を誇っており、膵癌や嚢胞性膵疾患の早期診断と治療方針の決定に貢献しています。進行癌に対してはステント留置やドレナージなどの緩和的処置も積極的に行っています。



写真1:内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)/ナイフで胃粘膜を切開している。



写真2:内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)/ナイフで粘膜下層の剥離を行っている。



泌尿器科
助教

飯塚 淳平

診療部長

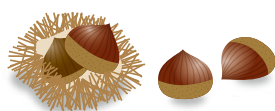
田邊 一成

■ ダビンチ治療のご紹介

1980年代に米国で開発された手術支援ロボット・ダビンチは2009年11月に薬事承認を得て以降、導入施設が急速に増加しています。術者は操作ボックスであるサージョンコンソールに座り、三次元画像を見ながら患者さんに接続されたロボットアームを遠隔操作します。ロボットアームには手術操作を行う鉗子先端部に可動性を有する関節機能を有しており精緻な手術操作が可能です。現在保険適応は前立腺全摘術のみですが、腎部分切除術や膀胱全摘術といった泌尿器科手術の他、呼吸器外科、消化器外科、婦人科などの領域で使用が始まっています。当科においては2011年8月より前立腺全摘術に導入し現時点で120名の方に施行しています。いずれも術後の経過は良好で、従来の術式と比較して制癌効果に遜色がなく、尿禁制や性機能の温存と言った術後QOLにおいて改善を認めています。また、腎部分切除術にも導入を開始しています。今後、更なる術式の拡大、症例数の増加が見込まれています。



写真1:ダビンチサージカルシステム



■ がんプロフェッショナル養成基盤推進事業(通称がんプロ)インテンシブコースのご紹介

がんセンター病院部門長 林 和彦

東京女子医科大学は、平成24年度より、帝京大学、杏林大学、駒沢大学との連携で、文部科学省の『がんプロフェッショナル養成基盤推進事業』に応募し、採択されました。われわれのグループは、「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」というテーマを掲げ、地域でがん医療のコーディネータとなれるような医療者の養成を図ることを目指していますが、この度ががんプロ事業として、がんに関わる医療者を対象とした、新たながん研修コース(インテンシブコース)を設置いたしました。

このコースは、医師のみならず、看護師、薬剤師、臨床心理士、MSWなど、すべての医療職の方を対象とします。地域がん包括ケアを担うがん専門職の育成を目的としますが、個々の医療者で異なる研修要望にフレキシブルに対応するため、①地域連携研修 ②化学療法研修 ③緩和ケア研修 ④放射線治療研修 ⑤外科がん治療研修 ⑥女性がん医療者復帰支援研修など、実習中心に幅広い研修を想定しています。原則として、研修は研修生の希望する項目の自由選択制をとり、複数プランの選択も可能なオーダーメイド形式を採用します。専門医受験のための長期の専門研修はもちろん、市中医療機関からの1日見学やブラッシュアップ研修、女性がん医療者の復帰支援などを、大学病院全体の事業として正式に行うプログラムです。研修ご希望の方には、事務局が各自に最適化された、当院ならではのプログラムを作成し、研修終了者には4大学共通の履修証明書を学長より授与いたします。

また、これまで院内で開催されてきた、がんセンター関連の研修会も、今後は広く公開されます。受講者には履修カードを発行し、相当数の出席をもって、コース修了といたします。実習プランの研修料は、選択研修数や研修期間に関わらず一律10,000円、研修会のみ履修プランは無料です。

御自身の生涯教育の一環として、あるいは貴施設の若手医療者の研修のために、ぜひ本プログラムをご活用下さい。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。詳細は下記ホームページをご参照いただくか、がんプロ事務局まで直接お問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 がんプロ事務局

TEL: 03-5369-7496 FAX: 03-5369-7499 e-mail: top-g4.bm@twmu.ac.jp

<ホームページ URL> <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/top.html>

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町8-1
tel: 03-3353-8111 (大代表) 交話 info

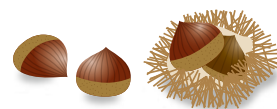
HOME - 受診のご案内 - 診療部署のご案内 - 入院・お見舞い - 各種相談窓口 - 病院案内 - よくある質問

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

東京がんプロフェッショナル (Tokyo Oncology Professionals : TOP) 事業
平成25年度 地域医療を担うがん医療者研修 (インテンシブ)

TOP Tokyo Oncology Professional
都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育

- がんプロフェッショナル養成基盤
- Aオーダーメイド研修プラン
 - 研修例
 - 研修内容
 - お申し込みの流れ
- Bがん研修会履修プラン
 - シンポジウム
 - e-learningについて
- インテンシブコース担当部署



講演会・セミナーのご案内

第1回 KAMPO Clinical Conference

- 特別講演：世界に発信する漢方薬のエビデンス
ーがん患者のQOL維持向上の観点からー
- 講師：上園 保仁 先生
国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長
- 日時：平成25年10月29日(火) 19:00~20:10
- 会場：東京女子医科大学 臨床講堂2
- 当番世話人：消化器内科 白鳥 敬子

※本会は、『日医生涯教育講座』に認定されております。【83漢方医療：1単位】
共催：女子医大医師会 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 株式会社ツムラ

お問い合わせ：東京女子医科大学 消化器内科 白鳥教授室 井上 03-3353-8112 内線 25212

第45回 東京女子医科大学消化器病臨床フォーラム

- プログラム：『早期胃癌 up to date』
演題I『早期胃癌診断の現況(開業医の立場から)』
後町外科胃腸科クリニック 院長 後町 浩二 先生
演題II『鳥肌胃炎と胃癌』
東京女子医科大学 消化器外科教授 中村 真一
講演『腹腔鏡下胃切除の現況』
東京女子医科大学 消化器外科助教 谷口 清章
- 日時：平成25年11月6日(水) 19:00~20:30
- 会場：東京女子医科大学 総合外来センター5階 大会議室

※本フォーラムは、『日医生涯教育講座 1単位』に認定されております。
共催：東京女子医科大学 消化器病センター 女子医大医師会
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

2013 腎臓・高血圧・内分泌・糖尿病・代謝合同セミナー

- テーマ：「糖尿病と高血圧ー重要臓器に刻印された日本人の記憶ー」
- 講師：川崎医科大学 腎臓・高血圧内科主任教授 柏原 直樹 先生
- 日時：平成25年11月28日(木) 18:00~19:00
- 会場：東京女子医科大学 臨床講堂2

共催：東京女子医科大学 腎臓総合医療センター 高血圧・内分泌内科 糖尿病センター

医療連携窓口のご案内

当院と地域の医療機関やかかりつけ医の先生方との連携の窓口として、紹介元の先生方からのお問い合わせや、電話やファクシミリによる外来診療やセカンドオピニオン外来の予約を行っております。FAXの専用申込用紙は当院ホームページ 社会支援部の「医療関係者の方へ」から専用申込用紙がダウンロードできます。是非ご活用ください。

*予約専用電話 03-5269-7160 <月~金 9:00~17:00、土 9:00~12:00>

*FAX診療予約 03-5269-7387 <月~金 9:00~17:00、土 9:00~12:00>

